

経営比較分析表（令和2年度決算）

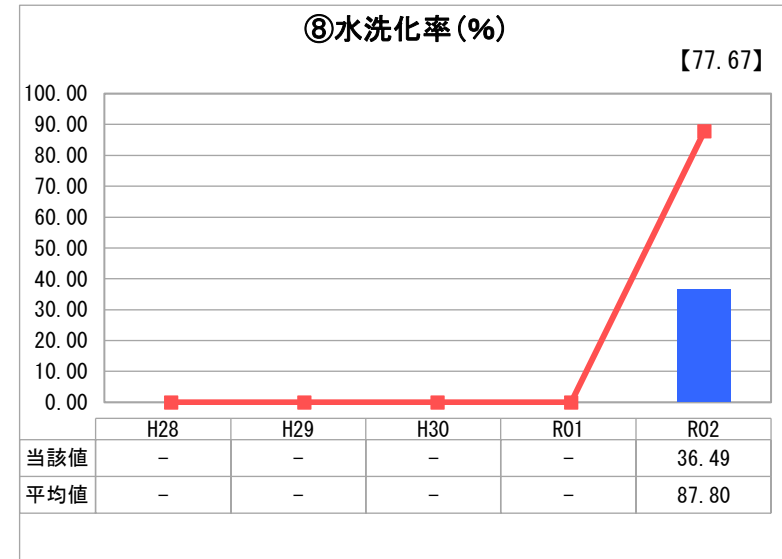
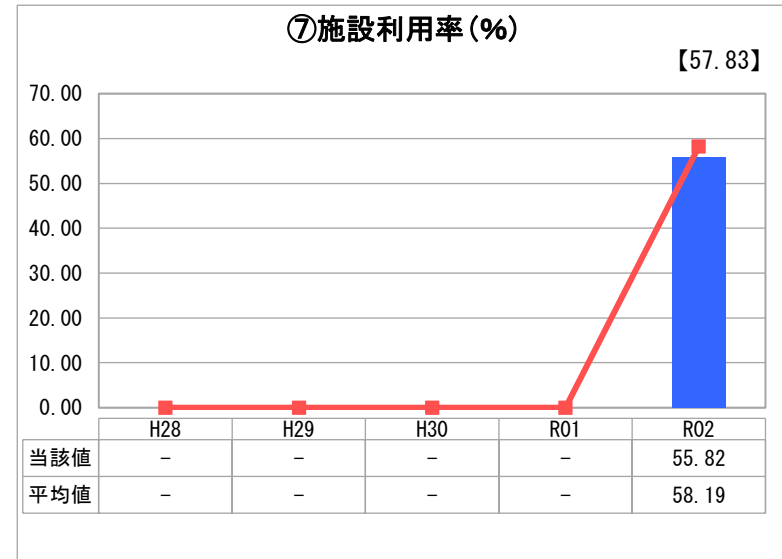
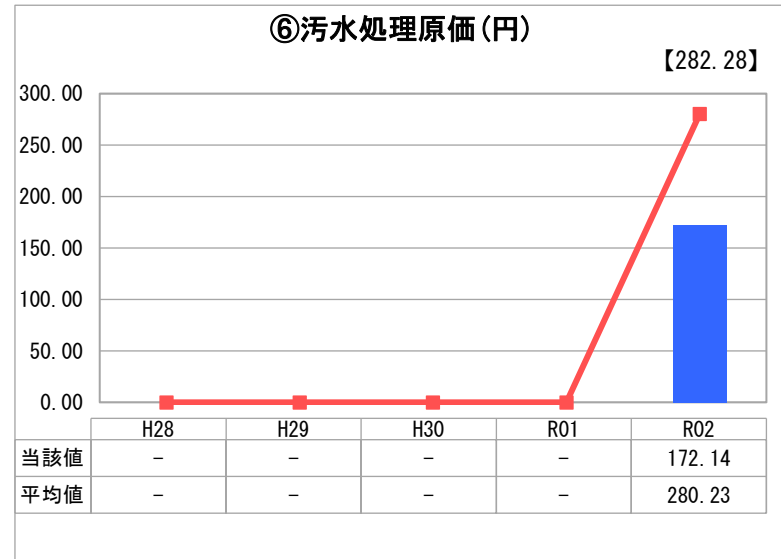
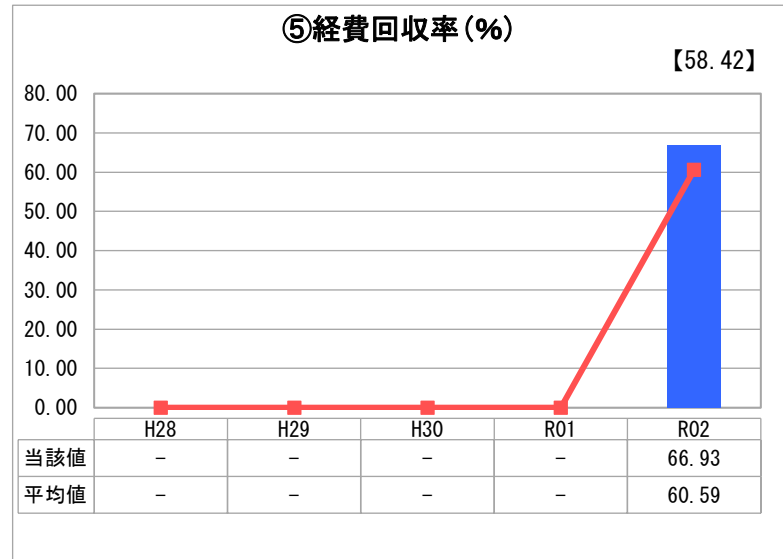
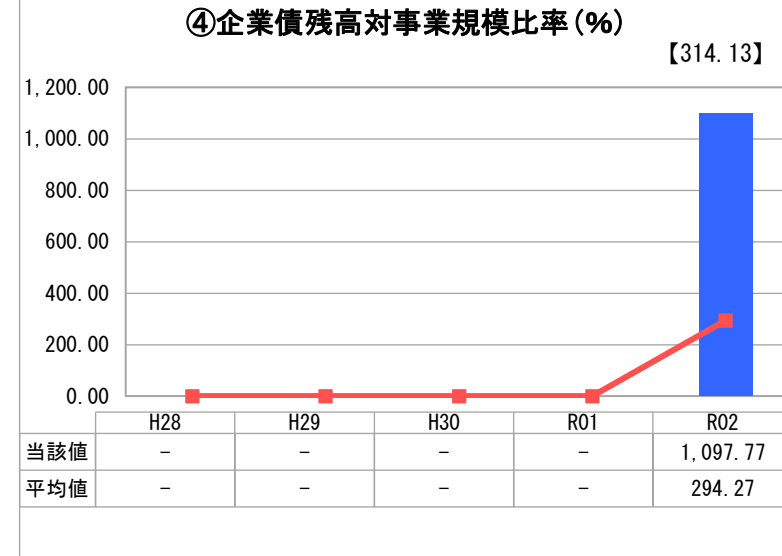
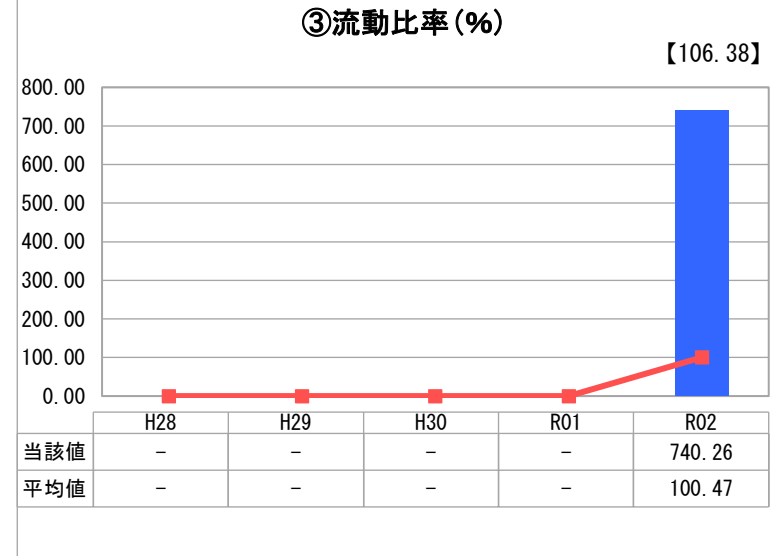
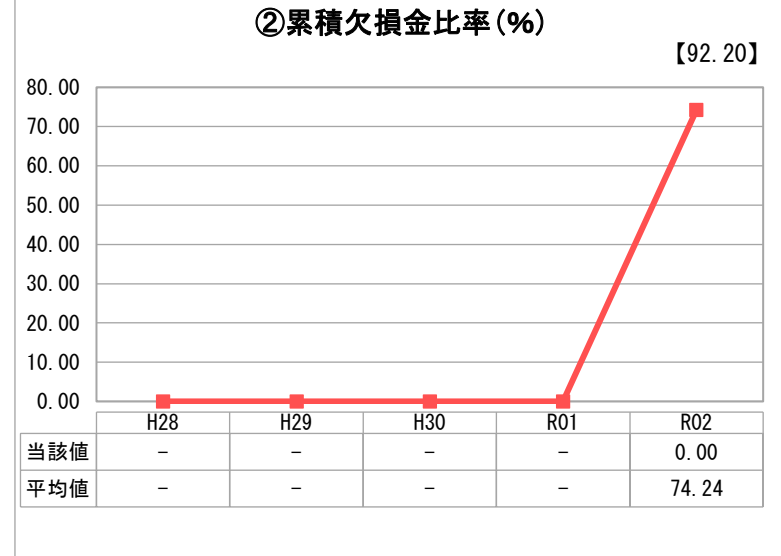
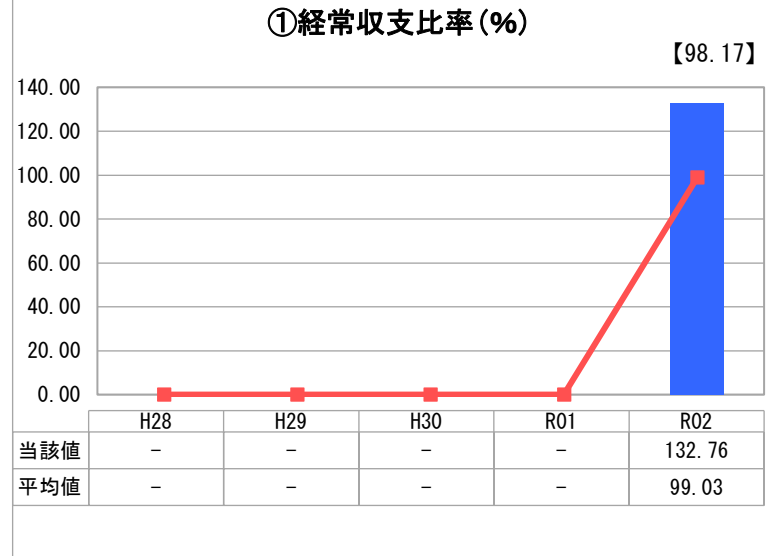
岩手県 金ケ崎町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	特定地域生活排水処理	K2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	66.82	12.53	100.00	2,640

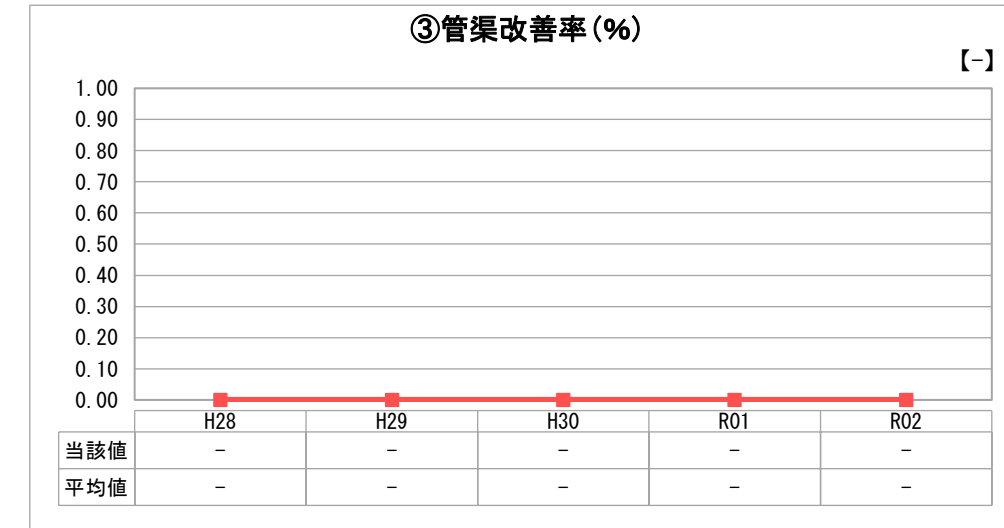
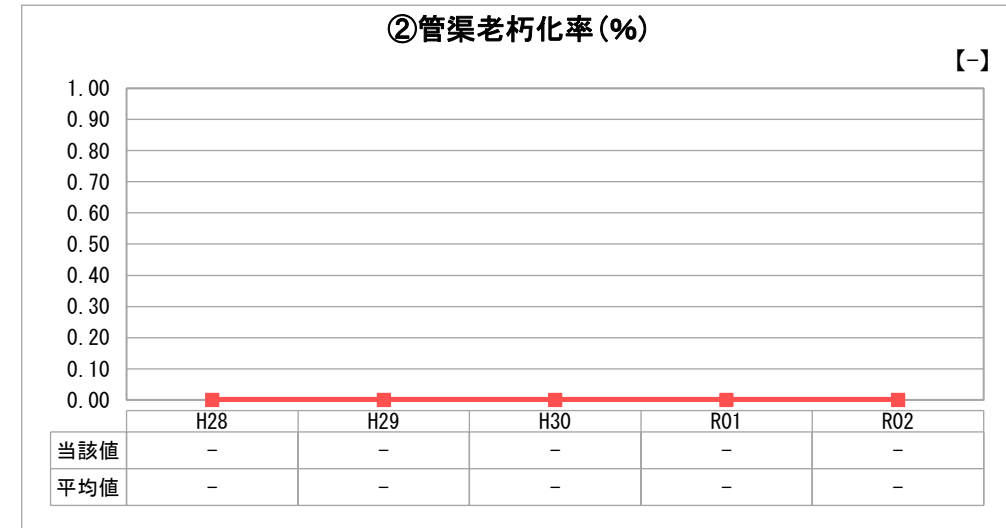
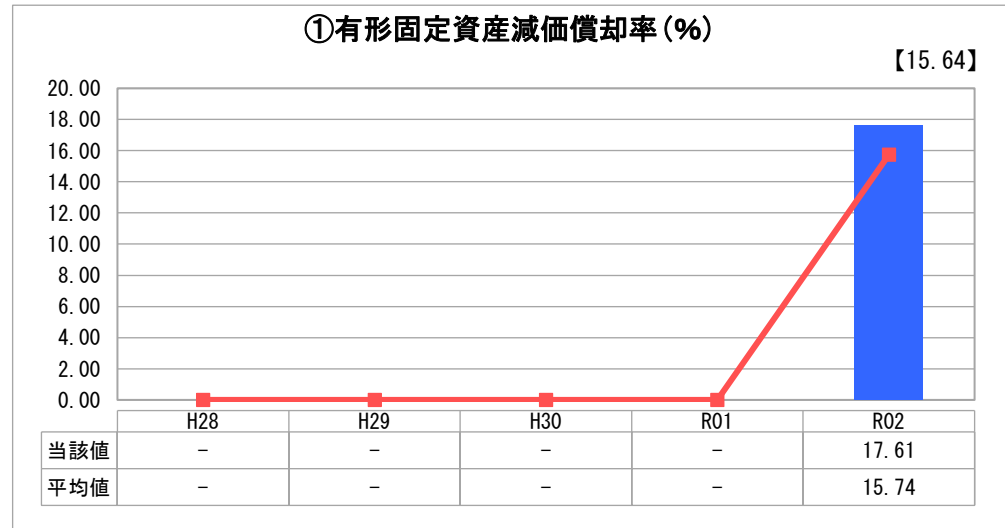
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
15,561	179.76	86.57
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
1,940	45.40	42.73

グラフ凡例	
■	当該団体値（当該値）
—	類似団体平均値（平均値）
【】 令和2年度全国平均	

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

① 経常収支比率は、料金改定により132.76%と100%を上回っているが、使用料収入を超える繰入金により収支の均衡を図っている。
 ② 流動比率は、740.26%と全国平均を大きく上回る。
 ③ 企業債残高対事業規模比率については、企業債の発行は多額となっており、一方で料金設定が低くなっているため比率が高くなっている。令和2年度の料金改定により、減少傾向が見込まれる。
 ④ 経費回収率は、全国及び類似団体平均を上回ったものの、繰入金に依存している状況である。
 ⑤ 汚水処理原価は全国平均より低いことから、引き続きコスト削減に努めていく。
 ⑥ 水洗化率は、全国平均を下回っているが、未水洗化世帯は高齢者世帯が多いため、大きな伸びは期待できない。

2. 老朽化の状況について

平成16年度から整備を開始し、平成20年度までの5か年の整備基数が114基と全208基の半数以上を占めるため、更新計画を策定し、更新時期の平準化を図る必要がある。

全体総括

料金収入のみでは、企業債の償還ができないことから、料金収入より多額の一般会計繰入金により、収支均衡を図っている。
 「金ケ崎町下水道事業中期経営計画」に基づき、令和2年4月に料金改定を実施したところ、指標の改善傾向がみられる。
 今後も同計画に基づき、管理費用や改築更新に係る費用増、将来的な人口減少による使用料の減少を考慮し長期的な管理計画、経営及び料金改定等を行っていく必要がある。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。